2009 MODU コードに関する事項

改正規則等

鋼船規則 B 編, P 編及び PS 編
鋼船規則検査要領 B 編, P 編及び R 編
安全設備規則, 揚貨設備規則及び居住衛生設備規則

改正事項

2009 MODU コードに関する事項

改正理由

移動式海底資源掘削船に関する IMO のコードである MODU コードは, 第 86 回海上安全委員会 (MSC86) の勧告を受けて, SOLAS 条約等の改正要件及び国際民間航空機関 (ICAO) のヘリコプタ施設に関する基準等が取入れられ, 2009 年 12 月に開催された IMO 第 26 回総会において, 2009 MODU コード (決議 A.1023(26)) として採択された。

今般, 2009 MODU コードに基づき, 関連規定を改めた。

また, MODU コードは非強制のコードであることから, これまで鋼船規則等に必ずしもすべての要件が取入れられてはいなかったが, 昨今, 当該コードは, 海底資源掘削船に適用される規則として国際的に広く認知されたコードとなっていることから, 同コードの要件を全面的に鋼船規則等に取り入れることとし, 上記 MODU コードの改正と併せて, 関連規定を改めた。

改正内容

- (1) ヘリコプタ施設等に関する定義を鋼船規則 P 編 1 章に規定した。
- (2) 鋼船規則 P 編 9 章に点検設備等に関する要件を規定した。
- (3) 鋼船規則 P 編 11 章に規定される甲板昇降装置等に関する要件を改めた。
- (4) 鋼船規則 P 編 13 章に規定される危険場所の分類及び電気設備等に関する要件を改めた。
- (5) 鋼船規則 P 編 14 章に規定される防火構造及び脱出設備に関する要件を改めた。
- (6) 鋼船規則 P 編 15 章に規定される消火設備に関する要件を改めた。
- (7) ヘリコプタ甲板の周辺の構造, 標示, 照明及び灯火に関する要件を鋼船規則 P 編 16 章「ヘリコプタ施設」として規定し, ヘリコプタ甲板の防火構造, 消火設備等に関する要件を鋼船規則 P 編 14 章及び 15 章に規定した。
- (8) 作業に関する要件を鋼船規則 P 編 17 章「作業に関する規定」として規定した。
- (9) 海底資源掘削船の安全設備, 揚貨設備, 通信設備, 居住衛生設備に関する規定を各設備規則に規定した。